

栃木県職員採用関係



# 栃木県 産業労働観光部 機械職 業務案内



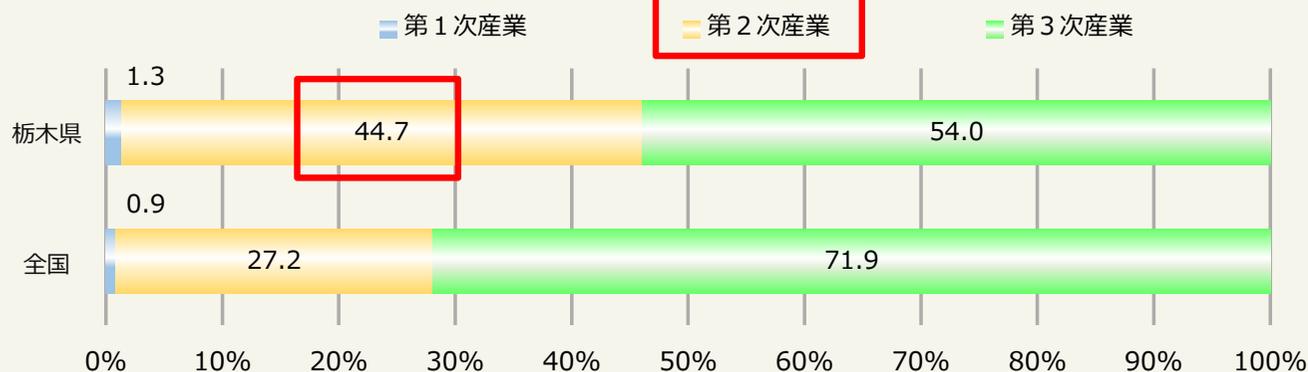
「技術」が支える「とちぎ」の「ものづくり」

## 1

# 栃木県の産業の特徴



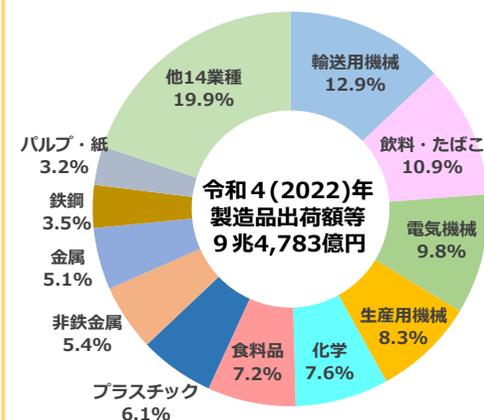
栃木県の県内総生産（名目）産業別構成比（令和3年度）



※ 県内総生産（名目）の割合は輸入税・関税等を考慮していない

資料：内閣府「令和3年度県民経済計算」

栃木県の製造品出荷額等に占める各産業の割合



（総務省・経済産業省「経済構造実態調査（2023年）」より）

- ◆ 栃木県は、製造業（第2次産業）が県内経済を牽引する「ものづくり県」です
- ◆ 製造品出荷額等約9.5兆円、県内総生産額に占める製造業比率44.7%（全国3位）と全国屈指の実績を誇っています。自動車や航空機部品などの輸送用機械の割合が最も高く、飲料・たばこ、電気機械などがそれに続き、過度に一つの産業に依存しないバランスがとれた産業構成となっています  
⇒ ものづくり県の更なる発展のため、技術開発等を積極的に支援するとともに、事業を支える人材を多数育成しています。



県内中小企業等の新技術・新製品開発や技術高度化などを支援する技術支援機関 ⇒ [栃木県産業技術センターHP](#)

### ● 機器開放や依頼試験

- ・ 事業者センター内の機器を開放したり、事業者からの依頼された試験を行います

⇒ NC加工機や材料試験、非破壊検査、精密測定、形状測定等

- ・ 三次元測定(三次元座標測定機による試験)
- ・ X線CTスキャン(X線CT三次元測定機による試験)
- ・ 金属組織試験(金属顕微鏡による試験)

### ● 各種研究

- ・ 産学官がそれぞれの得意分野を活かして協力、分担し、共同で実施する「共同研究」のほか、自社だけでは解決が困難な新技術・新製品の開発課題や生産活動上の課題等について、中小企業等から委託を受けて実施する「受託研究」等を行います

⇒ 具体的な研究テーマは[こちら](#)を参照

※ ほか、適時、事業者等からの技術相談に応じています。

外観



業務風景





## ※ 若手職員の声です！

（20代男性／機械電子技術部）

入庁直後、初めて見る装置を前に操作法や用途が見当もつかず戦力になれるか不安でいたところ、優しい先輩方が丁寧に教えてくださいました。今ではいくつかの装置や試験を任されています。測定を通じて企業のものづくりを支援できることにやりがいを感じています。企業の方と直接、関わるため緊張する場面もありますが、穏やかな雰囲気職場で、職員同士支え合って仕事をしています。休暇も取りやすく、ワークライフバランスの観点からも充実しています。

（30代男性／機械電子技術部）

ものづくり企業に対して技術的支援を行う産業技術センターで、企業が抱える課題の解決に向けた技術的相談の対応や、センターが保有する機器を用いた試験、研究などを行っています。新材料開発のための試験、不具合品の原因調査など、企業からの様々な依頼を受けて業務を行い、時には壁にぶつかることもありますが、職員同士で気軽に話し合える環境なので乗り越えられています。

（30代男性／機械電子技術部）

民間企業での実務経験を経て入庁し、機器開放や依頼試験から企業との共同研究まで携わり、県内のものでづくり企業を技術面で支援しています。企業から感謝の言葉をいただく喜びは格別です。研修や資格取得の機会が充実し、スキルアップできる環境が整っているほか、休暇も取りやすく育児との両立もしやすい職場です。技術の最前線で活躍しながら成長できるこの環境で、あなたも一緒に働いてみませんか？

（20代男性／県南技術支援センター）

県南技術支援センターは、少人数の組織のため幅広い試験や装置を経験することができるのでスキルアップにつながります。今は企業の方の課題解決に必要な分析方法の提案等を行えるようになってきています。企業の課題が解決出来たとの言葉をいただいた時にやりがいを感じます。





県の公共職業能力開発施設で、ものづくり分野で活躍するための人材育成拠点

⇒ [栃木県立県央産業技術専門校HP](#)

● 普通課程技能習得コース（県央校／宇都宮市）

- ・ 学卒者等に、1～2年間の訓練を行い、専門的な知識・技能を習得させて産業界で活躍する人材を育成します
  - ⇒ 配属先は機械技術科や制御システム科、金属加工科等
  - ⇒ 全国規模の競技大会等に入賞できる技能者の育成
  - ⇒ ものづくり分野の県内企業への就職実績は多数あり

● 短期課程施設内コース（県北校／那須町、県南校／足利市）

- ・ 求職者等に、6か月～1年間の訓練を行い、実践的な知識・技能を習得させて早期の再就職を目指します
  - ⇒ 配属先はセレクトスキル科、マルチスキル科（機械加工・CAD等）

※ 県央産業技術専門校のブログは[こちら](#)を参照



## 5

# 栃木県立県央産業技術専門校（宇都宮市、那須町、足利市）



## ※ 若手職員の声です！

（20代男性／県央校（機械技術科））

この仕事はものづくりの技術を次世代に伝えるやりがいのある仕事です。学生の成長を間近で感じられ、「できるようになった！」という喜びの瞬間を共有できるのが大きな魅力です。また、授業の計画や指導方法を工夫することで、自分自身もスキルアップできる環境があります。勤務時間も安定しており、休日もしっかり確保できるため、ライフワークバランスも良好です。ものづくりが好きで、人に教えることに興味がある方には良い職場です。



（30代男性／県央校（ITエンジニア科））

大学で機械を専攻していたこともあって、学んだことを活かせる仕事に就きたいと考えていました。ここでは自身が学んできた知識などを栃木県の未来を担う若者達に教えるという他の所属では体験できない仕事ができます。人と関わること、教えることが好きな方は楽しく仕事ができると思います。また、様々なことに挑戦させてくれる環境が整っており、勉強が好きな人にはおすすめです。休みも取りやすく、公私ともに充実した生活を送ることができる職場です。



（20代男性／県央校（建築設備科））

建築設備科は4力学のうち熱力学及び流体力学を主とする科です。大学で学んだ知識を活用し、分かりやすいように指導することは、やりがいがあり、楽しいです。年間を通して、指導する訓練生の成長を傍で見守りながら、資格試験等に挑戦して自身の知識・技能の研鑽に取り組み、一体となって技能向上に励むことのできる職場です。学校なので夏休みや春休みがあり、その期間は職員の休暇も取りやすく、ワークライフバランスの充実した、とても良い環境が整っています。



（30代男性／県北校（セレクトスキル科・マルチスキル科））

求職者への職業訓練の指導員として、機械加工やCAD等の知識技能の習得や資格取得に向けた指導を行っています。知識や技能を教える立場のため、自身の学びも必要であり苦労はありますが、訓練生がスキルを習得して自信をつける様子を見ると達成感を感じます。習得スキルにより志望企業の内定をもらえた訓練生から報告を受けた際の嬉しさは、他の職場ではなかなか味わえないと思います。業務は計画的に進めることができ、問題が発生した際にはチーム一丸となって対処に当たっています。また、休暇も取得しやすく、仕事と私生活とのバランスが非常に取りやすい職場です。





## 工業振興課（ものづくり企業支援室）

- 産業技術センター等と連携し、ものづくり企業の支援や技術振興に関する政策立案を行っています。

・自動車、航空宇宙、医療福祉機器など基幹産業や半導体等の新たな成長産業の重点的支援に取り組んでいます。

・企業の生産性向上を図るため、AI・IoT・ロボット等を活用したスマートファクトリー化を支援しています。

・製造工程の脱炭素化に向けた支援及び助成を行っています。

・企業の販路拡大を図るため、大規模展示商談会への出展を支援しています。



## 計量検定所

「計量の適正な実施を確保するため」に設置された行政機関 ⇒ 計量検定所HP 

- 主に計量器の検定、定期検査及び事業者への立入検査等を行っています。

### 〈検定の様子〉



自動車等給油メーター

正確な液体の量を計れる「基準タンク」に一定量のガソリン等を注ぎ、給油メーターに表示された量（10ℓ等）が適正になっているか検査します。

### 〈立入検査の様子〉



小売店・スーパー

陳列されている商品の内容を正確なはかりで計量し、商品ラベルの表示量が適正になっているか検査します。

### 〈定期検査等の様子〉



ばね式指示はかり

トラックスケール

「はかり」に正確なおもり（分銅）を載せて、「はかり」に表示された重さが適正になっているか検査します。





Q1 / 採用までの流れを教えてください。

⇒ 基本的な採用の流れは以下のとおりです。(大卒程度・通常枠の場合)



Q2 / 技術職のインターンシップはありますか。

⇒ 毎年8月に産業技術センターと県央産業技術専門校において実施しています。申込み等の詳細については、6月頃に県電子申請システムや県HPで案内予定です。

※ [栃木県インターンシップ情報](#) 

Q3 / 栃木県庁に機械職は何名いますか。

⇒ 67名 (R6.4.1時点) です。



▼ 機械職の業務に関する問合せ

- ・ 栃木県産業労働観光部産業政策課 企画調整担当（人事T）  
〒320-8501 宇都宮市埜田1-1-20 県庁舎本館6階  
TEL 028-623-3169  
Email [sangyo@pref.tochigi.lg.jp](mailto:sangyo@pref.tochigi.lg.jp)

▼ 採用に関する情報・問合せ

- ・ 栃木県人事委員会事務局総務課  
栃木県職員採用HP  
⇒ [栃木県職員募集案内](#)



※ 掲載内容は、令和7年1月現在のもの

